



高島市地区 赤十字奉仕団だより

第11号
令和5年3月

さあ できることから始めよう!



子どもフェスティバルでの
救護服・ナースの制服の
試着体験 (高島)

コロナに負けず、様々な活動を実施しました!



駅の座布団を
新しくしました
(高島)



ロケットストーブを
使用した非常食づくり
(安曇川)

更なる奉仕団活動の展望を見据えて



新しい年を迎え、皆さまのますますのご健勝、ご多幸を祈念するとともに、常日頃私たちの活動にご理解と力強いご声援をいただいておりますこと心より厚く御礼申し上げます。

足掛け4年あまりに及ぶ新型コロナウイルス感染症は今も変異を繰り返し、未だ終息の兆しが見えぬ状況下、突如昨年2月大國ロシアによる主権国家ウクライナへの軍事侵攻は世界中の経済的混乱をもたらし、私たちの生活を苦しめています。

そうしてこのような中でも自然災害のもたらす猛威は少しも弛むことなく、火山の噴火や地震、想像を絶する大雨による洪水、台風等の被害は収まる気配すらないと、もう世紀末の様相です。

さて、私達赤十字奉仕団は、このような時代状況下にあっても人道と博愛の高邁な精神の下に人道的な活動を継続推進することにあります。『さあできることから始めよう』のスローガンの下、誰もが安心して暮らしていける一助となればの思いで、地域の一人暮らし高齢者への声掛けと安否確認を行う「一声ふれあい運動」を展開しております。

さらには想定される大規模自然災害に対して救護訓練の学習、ライフライン（電気・ガス・水道等）途絶下での炊き出し訓練等、各団創意工夫を重ねている次第であります。

結びになりますが、赤十字の精神を次世代に繋いでいくためにも、魅力ある奉仕団活動を目指し、地域に寄り添った奉仕活動の活性化を目標に楽しく活動を続けてまいりたいと願っております。今後とも一層のご支援ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

赤十字奉仕団高島市地区委員会
委員長 栗原 勲

近江八幡市赤十字 奉仕団と交流!

令和4年9月23日に近江八幡市赤十字奉仕団との交流会をしました。

高島からは総勢11名（男性団員中心）が近江八幡市に赴き、コミュニティセンター「ひまわり館」にて現地男性団員約50数名とともに計8台のロケットストーブを組み立てることが出来ました。

現地スタッフは皆様研究熱心で予想を上回る速さで製作工程が進み、その後の座談交流も有意義な時間となりました。



赤十字奉仕団の活動をご存じですか?

次のページに今年の活動報告を掲載しています。ぜひご覧ください。



ロケットストーブを使った 災害支援講習 & 本庄小学校でJRC親子防災教室 を実施しました！

令和4年9月2日に安曇川世代交流センターでロケットストーブを使った災害支援講習を実施し、蒸しパンとおにぎりを作りました。

非常食作りはコロナ禍もあり、数年ぶりの実施となりました。感覚が鈍っていたのか、始めは上手くいかないこともありましたが、すぐに美味しい非常食を作ることが出来ました。

ロケットストーブの火加減などを確認する様子



○-----○

令和4年11月16日に高島市本庄小学校でJRC（青少年赤十字）親子防災教室が開催されました。

滋賀県赤十字奉仕団本部からの救急資機材の展示、応急手当などの体験、備えておきたい防災グッズの見学をしました。

私たちは児童にハイゼックス（耐熱ポリ袋）を使った非常食作りを体験してもらいました。

保護者の皆さんが見守る中で、児童たちはこれらの体験を通して、災害への備えや避難生活などの知識と心構えを学ぶことができました。こうした学びと地域の防災訓練と赤十字奉仕団が連携して災害に備えた活動をしていけたらと改めて感じました。



防災訓練の様子

令和4年度赤十字奉仕団 高島市地区一日研修会を 開催しました！



令和4年7月5日にガリバーホールにて百余名の団員が集い、赤十字奉仕団高島市地区の一日研修会が行われました。

「仲間を増やし、つなげていこう日赤奉仕団！」と題して、滋賀県支部指導講師の青木孝之様より講演がありました。団員数の減少等課題のある中で、大切な役割を未来につないでいくために私たち一人ひとりが大切にしていきたいことを語っていただきました。

また、今津奉仕団の早川氏より、活動事例を報告しながら、男性としての思いなどを発表していただきました。青木様より、男性団員の方には特技を生かして活動していくことなど助言をいただきました。



青木 指導講師



早川 団員

令和4年度 高島市地区委員会 委員研修を実施しました！（岐阜）

令和4年11月8日に高島市地区委員会の委員研修として各地域の委員長・副委員長計18名で、岐阜県広域防災センターを訪れました。

地震体験装置を使った地震体験の後、元自衛隊員のセンター職員から、実際の災害時に行われた救助活動の貴重な体験談をご講演いただき、災害に備える大切さを学びました。



講演の様子



地震体験の様子

高島子どもフェスティバルに参加しました！

令和4年10月16日に高島公民館で高島子どもフェスティバルが3年ぶりに開催されました。

ステージ発表と体験活動、展示コーナーのプログラムの中、奉仕団は視聴覚室で体験活動を担当しました。

子どもさんに赤十字の救護服やナースの制服を試着していただき、可愛く頼もしい姿を写真に収められていました。ペットボトルでお出かけバックづくりや、折り紙やぬり絵などの遊びを通じて、ご家族の楽しそうな様子に、私たちも心温まる一日でした。



試着の様子



お茶摘みの協力と 施設利用者との交 流会をしました

マキノ

障害者支援施設「藤美寮」の茶摘みに協力しました。

令和4年5月23日・24日の両日、五月晴れに恵まれ、3年ぶりの施設利用者との交流でした。

新茶の香りがほのかに漂う中、美味しく召し上がっていただきたく願いを込め、一葉一葉丹精込めて摘みました。

マスク着用とはいえ、久しい仲間との出会いで会話が弾み、楽しくボランティア活動が出来ました。



多賀大社勤労奉仕 に参加しました

今津

令和4年11月14日、多賀大社の本殿にて、今津赤十字奉仕団委員の健康を願うご祈祷を受け、団員一同、身を締め締め社殿の窓ガラス拭きに汗を流しました。

宮司さまからも七五三参りや新嘗祭が気持ちよく迎えられると喜んでいただけました。

帰りのバスではお孫さんの受験合格祈願をされた話で賑わっていました。

奉仕活動を通して、地域に何が出来るかを考え、みんなで協力し楽しい活動を広めていくことの大切さを感じた一日でした。



小学校でお正月の リースづくりを しました

朽木

朽木赤十字奉仕団はウクライナの募金から始まり、それぞれの家の庭で世界平和の願いを込めてひまわりの花を咲かせました。

令和4年12月16日には朽木東小学校の児童と朽木の野山にある草木を使ってお正月飾りのリースづくりを行いました。

高学年の子が小さな子を手伝ったり「わー可愛い!」「お母さん喜ぶ!」とワイワイととても楽しく心温まる活動が出来ました。



高齢者の見守り 活動で花などを 持っていきました

安曇川

地区の独居老人見守り活動で、団員の手作りの小物と本庄小学校の児童が育てた花を持って訪ねました。

本来ならば本庄小学校の児童と一緒に児童の育てた花の鉢植えを持って各家を訪問したかったのですが、コロナ感染拡大の影響で団員だけで届けました。



楽しく元気に
お過ごし
ください



中学生におやつを 作りました

高島

自然体験学習はコロナ禍で2年ほど中止でしたが、今年は中学生たちの思い出作りにと、周囲の方々の尽力で実施されました。

新旭浜から高島まで15kmを班ごとに史跡や施設で学習しながら歩きます。

奉仕団員14名は中学校の調理室へ集合し、みたらし団子を作りました。1200個、240人分、帰ってきた人たちにお茶と5個入りみたらし団子の紙コップを渡しました。

どの人も皆さん成し遂げた後の爽やかな笑顔で受け取ってくださいました。お疲れ様でした。



今年も新旭浜園地 の草刈りを実施し ました

新旭

新旭赤十字奉仕団は旧町以来から県の委託を受けた琵琶湖周辺「新旭浜園地」の草刈り掃除があります。

春、秋2回に渡る結構大変な大規模作業で、男性団員による機械使用作業が不可欠であり、もとより新旭に男性団員が多いことの要因でもあります。

計4日間、延べ動員数(男女あわせて)75名。



男性団員の交流活動

男性団員の活動はコロナ禍の影響を受けながらも野外活動に限定した形での取り組みに終始しました。市全体でもまだ50数名以下と女性団員に比べれば少数ですが、男性ならではの力量、技量を生かした非常時対応への備えが望まれているところです。

現在は「びわこを美しくする運動」の一環と湖辺の清掃活動を中心にした活動ですが、時には各地小学校や福祉公共施設等の草刈り作業（機械使用）あるいはロケットストーブを使った非常時用炊き出し訓練補助などをしました。普段のいくつかの交流の中から顔の見える関係性を大事にこれからも頑張ります。



団員募集

～一緒に楽しく活動しませんか～

高島市地域全体で団員を募集しています！ あなたの力をお貸しく下さい！

一人に出来ることは限られていますが、手を取り合えば多くのことが出来るようになります。

「人の役に立つことがやってみてほしいけれど、何から始めたらいいかわからない」
「仕事を辞めて時間が余っているけれど、これから何をすべきか悩んでいる」
そんな時はぜひ赤十字奉仕団の活動にご参加ください！



高島市では女性の団員の割合が多いですが、男性団員も歓迎しております。

特に機械を使った草刈りやロケットストーブを使った災害支援活動など、男性の力が必要な場面が多くあります。少しでも興味があれば、社会福祉課までお問い合わせください。



街頭募金活動
(ウクライナ人道支援義援金)



炊き出し訓練



日本赤十字社キャラクター
ハートちゃん

どんな理由でも
構いません！
あなたの入団を
お待ちしております！

問合せ先：市役所社会福祉課内 **(0740-25-8120)**

あたたかいご支援ありがとうございます

いただいた義援金は、すべて支援のために使用されます。
(ウクライナ人道支援義援金であれば、ウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動等)

ウクライナ人道支援義援金 338,394円
うち、赤十字奉仕団の街頭募金 232,506円

編集後記

新役員でスタートしたこの二年、感染症の終息がまならぬ中での活動でした。活動の位置づけが明確になった今日、改めて「コロナ禍だからこそできる地域のニーズや温度差を考え、様々な活動に取り組んできました。まちづくり協議会に参画している中で、学ぶことが多々あり、地域の課題も見えてきました。私達は健康・命の尊厳を守ることををしっかりと受け止め、楽しくボランティア活動を展開して頂くではありませんか。

広報委員一同

赤十字奉仕団 高島地区委員会 委員名簿

新	高	安	朽	今	マ
旭	島	曇	木	津	キ
岡	林	保	伊	飯	前
足	辻	清	栗	前	川
田	八	木	伴	川	林
立	林	水	若	田	池
原	田	香	林	川	谷
典	和	洋	悦	三	好
功	代	登	ひ	好	育
子	子	茂	と	子	美
		子	み	幸	美
					枝